

信越放送

活動名	SBC アナウンサーによる読みきかせ
実施期間	令和 5 年 7 月～令和 6 年 3 月
実施回数	会場 7 回

【事業実施の成果・課題】

一度行くと、リピートでお願いされることが多く、好評を頂いている。
また、何年も続けている事業なので、認知度が少しずつ上がってきて「うちにも来てもらえませんか？」という依頼をもらうようになった。
ただ、各アナウンサーがそれぞれ忙しく、なかなか遠くまで出張しての読み聞かせは難しい。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

- ・0 歳から 3 歳くらいが対象の会は、そのくらいの年齢向けの本を探すことに苦戦したが、聞いてくれる子どもがいるとやりがいがある。一緒に声を出してみたり、体を動かしてみたりすると、最後まで興味を持ってくれた。反対に、アナウンサーの一方的な語りは途中で飽きてしまうような子どもも多かった。
- ・登場人物によって声色を変えていると、子どもが食いついていた。例えば、お母さんの声は高めに、お父さんやおじいちゃんの声は野太いようなこえにしていた。「アナウンサーによる読み聞かせ」はこういった声の使い分けも大切だと学んだ。
- ・本に飽きてきたタイミングで、手遊びや、声を出させたり体を動かすなどの時間を入れるのは、注意をひくことができるので今後も続けていきたいと感じた。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

- ・食べ物など子どもたちの興味のある内容の本が多く、楽しんで聞いていた。
- ・電車クイズのコーナーが飽きさせない工夫でよかった。
- ・夏休み子どもが家にいる時間が増えるので、家でも読み聞かせをしてあげたい。
- ・読み聞かせの合間に体を使つてのコーナーもあり、親子で楽しめた。
- ・アナウンサーの読み聞かせは、小学生にとっては大変興味のあるもので普段使っている教科書を読んでもらい、その物語への意識も変わった。また是非おねがいたい。
- ・小学生からは「表現豊かに大きな声でしっかりよむことが大事だと思いました」「人に伝えられるように読むということが分かりました」「アナウンサーになりたいと思いました」などの感想も寄せられた。